

2 1. ^{しみずごえかいどう}清水越街道

選定箇所：^{ゆびそ}湯檜曾～清水峠（群馬県みなかみ町～新潟県南魚沼市）～清水（南魚沼市）※1

概要：上野国と越後国を結ぶ最短ルートであることから「直(すぐ)越(こえ)」と呼ばれ、戦国時代には三国街道とともに上杉謙信の関東行軍に使用された。しかし三国街道の整備以降、江戸幕府は清水湯檜曾に口留番所を設置して通行を禁じたため、江戸時代はほとんど利用されなかった。明治時代以降、群馬・新潟間を最短距離で結ぶことが評価され再開発されるも、急峻な地形に阻まれ現在は通行できない状態にある。

※1【みなかみ町】選定箇所の一ノ倉沢から七ツ小屋沢までは地図に掲載されていない小さい沢を含めて頻繁に沢の氾濫による道の崩落が見られる。

【南魚沼市】商工観光課や市観光協会は登山を推奨していない。水害による崩落箇所、砂防堰堤工事のための工事車両通行があり危険。



清水峠